

■**鵜飼徹定** 浄土宗の僧、仏教考証史家。〈明治維新〉直後に、日本文化史上の仏教を評価し、キリスト教排撃の論陣を張った。
うがいてつじょう
黒住教・・・1814＝ 久留米藩士鵜飼万五郎政善の第二子として、筑後国久留米(福岡県久留米市)に生まれる。

水野忠成老中1818＝ 4歳：
群書類従完結1819＝ 5歳：_久留米西岸寺光誉禅庵について得度。

シボ^シ朴来日・1823＝ **9歳**：

日本外史・・・1827＝13歳：京都に遊学、

鼠小僧磔・・・1832＝**18歳**：_江戸に遊学して、増上寺順応寮に入り、

高島砲術・・・1834＝20歳：_宗脈を受け、

大塩平八郎乱1837＝23歳：再び、京に遊学、

天保改革始・1841＝**27歳**：
天保改革弾圧1842＝28歳：_増上寺学寮を掌る。

阿部正弘首座1845＝31歳：

国定忠治磔・1850＝**36歳**：「十六羅漢図賛輯録」2巻、「縁山詩叢」2巻、

万次郎帰国・1852＝38歳：_増上寺冠誉慧庵の命により、京都鹿谷法然院に滞在し、隋唐の古経の収集を始める。
ペリー来航・1853＝39歳：

安政の大獄・1859＝**45歳**：
桜田門外変・1860＝46歳：
遣欧使節・・・1861＝47歳：「關邪管見録」。_武蔵国岩槻の浄国寺の第45代住職となる。

8月18日政変 1863＝49歳：「訳場列位」1巻、
禁門の変・・・1864＝50歳：編「大阿羅漢圖贊集」、「瑞蓮奇賞」
薩摩藩士密航1865＝51歳：編「耶蘇興廢年表」、

大政奉還・・・1867＝53歳：増上寺等誉明賢の命により、増上寺の山内源興院へ興学所を設ける(すぐに勸学院へ改称)。
明治維新・・・1868＝**54歳**：「南蠻寺興廢記」「祈?辯」。命を受け、西上して太政官へ幕府の免罪を訴える。
戊辰戦争終・・・1869＝55歳：「辯道書目提要」「古経題跋」「祀先辨謬辨」「笑耶論」。*宗門の宗規・学制の確立を図るべく、増上寺の会合で、
設立された東京諸宗同徳会盟の盟主となる。

初の日刊新聞1870＝56歳：_等誉明賢の命で、周防山口に浄土宗学校を設立し、大僧正明賢の代理として伝法を行う。
廃藩置県・・・1871＝57歳：「佛法不可斥論 附十二問題」、
学問のすすめ1872＝58歳：_教部省が設置されると十等出仕に補し、権少教正に任じ、浅草誓願寺に董す。さらに権大教正となり、
明治6年政変 1873＝59歳：「釈教正謬初破并再破」3巻。小石川伝通院第62代住職に就任し、_浄土宗初代管長となる。
佐賀の乱・・・1874＝60歳：_教部省の命により、京都知恩院の第75代住職となる。以後、各地に巡錫し諸寺を創建する。
初の民間工場1875＝61歳：*大教正となり、浄土宗規を改定する。
三つの反乱・1876＝62歳：公選により浄土宗管長となる。
西南戦争・・・1877＝**63歳**：鹿児島県において布教中、西南の役に遭遇。

明治14年政変1881＝67歳：

岩倉具視没・1883＝69歳：浅草幡随院を兼務。

内閣発足・・・1885＝71歳：五箇本山と十八檀林が協議し、五本山住職一年交替となった浄土宗管長となり、
帝国大学始・1886＝**72歳**：満期により管長職を辞任。*門跡号の公称を許可される。
国民之友始・1887＝73歳：_知恩院を辞して塔頭福寿院に住し、傍ら各地を巡化するうち、

大津事件・・・1891＝77歳：名古屋阿弥陀堂で、_没した。
著書はほかに、「閩山取蔵古本搜索録」2巻、「諸山藏経考」2巻、「古経題跋」2巻、「天寿国曼荼羅記」1葉、「法隆寺金堂画伝記」3葉、「古経搜索録」2巻、「古経堂詩文妙」8冊などがある。

平凡社百科事典、インターネット、